

JA三重厚生連は、医療・保健・福祉活動を通じて、組合員と地域住民の皆さまが、安心して健やかに暮らせる地域づくりに貢献していきます。

厚生連だより

Letter of JA Mie Koseiren

Vol. 81

2020. 1

孤野町にある竹成五百羅漢。大小さまざまな石仏、石神が立ち並ぶ光景は壮観です。



もくじ

新年のごあいさつ	2
内視鏡下手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」を導入しました	3
「障害者の生涯学習支援活動」に係る文部科学大臣表彰を受けました／ 鈴鹿オフィスワーク介護福祉士見学実習を受け入れて	4
光力学診断併用による経尿道的膀胱腫瘍切除術が可能になりました／ 病院外壁ピフォーアフター	5
三重大学医学生の教育活動について／ 第3回 MIELS -Disaster- に参加して	6
鈴鹿厚生病院ダイナイトケアセンター／ 認定看護師紹介	7
治療食を紹介します④ 透析食	8

CHECK!



JA三重厚生連の
取り組みを紹介!

新年のご挨拶



経営管理委員会 会長 谷口 俊二

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては健やかな年をお迎えのことと存じ、心よりお慶び申し上げます。平素は厚生事業に深いご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

本年1月より、日米貿易協定が発効し、TPPと同様に農畜産物を中心に大幅な市場開放が求められることとなります。昨年5月に農協改革集中推進期間は終了し自己改革が進められ一定の進捗が見られましたが、引き続き農業者所得の向上、一層の資材価格の引下げ、信用事業の健全な持続性などについて課題が残されております。また、規制改革推進会議についても、新体制となり、農協改革について重点的にフォローアップされることになっています。

このような中、JAグループ三重は、令和2年度において、不断の自己改革とこれを支える持続可能な経営基盤の確立・強化と正准組合員との関係深化による組織基盤の強化に向けて取り組んでまいります。

医療・福祉分野では、超高齢社会の到来に向けて、増大する社会保障費の財源確保と削減に向けた施策が進められています。昨年は、10月に消費税増税が実施され、社会保険診療報酬収入が非課税であることから、仕入にかかる消費税を医療機関が負担する損税が増大しており、ますます経営を大きく圧迫してきます。また、厚生労働省が、公立・公的医療機関のうち、再編統合の議論が必要とされる医療機関を公表しましたが、厚生連の病院は、地域に根差した医療を提供するため必要な機能を有しており、今後とも果たす役割を明確にし、事業を実施してまいります。

このような状況の中、JAグループの一員として組合員及び地域住民の皆様が住み慣れた地域で安心して健やかに暮らせるよう、選ばれる病院づくりを目指し、役職員一丸となって邁進する所存でございます。今後ともなお一層のご支援とご協力をお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、年頭の挨拶といたします。



代表理事 理事長 庄山 隆裕

新年明けましておめでとうございます。皆様には爽やかな新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、平素は本会事業に対し、温かいご支援とご協力を賜りますこと厚く御礼申し上げます。

元号は平成から令和に変わり、新時代が幕を開けました。

昨年は、各地に大雨と甚大な被害をもたらした台風の猛威、高齢者の交通事故やあおり運転が社会問題化するなど、悲しく考えさせられる出来事も多かった半面、喜ばしいことと言えば何といてもラグビーワールドカップでの日本代表の活躍でした。決勝トーナメントでは惜しくも南アフリカに敗れたものの、桜ジャージの快進撃が列島を熱狂させました。「ONE TEAM」のスローガンでまとまることの大切さを、組織が一丸となれば難局を突破できる勇気を与えてくれました。

今、2025年に向けて病床削減・病床機能の再編統合が進められています。昨年9月には、再検証が必要と判断された公立・公的病院名が公表されました。地域住民の不安をいわずらに掻き立てたことは遺憾と言わざるを得ませんが、病床再編の流れは確実に進んでいきます。

これまで厚生連は“組合員および地域住民の皆様が安心して健やかに暮らせる地域づくりに貢献する”理念のもと、地域の医療を支え守ってきました。今後の変化に対応していくことは必要ですが、このような時代だからこそ、本質や原点を大切にしなければならないと思います。何のために病院はあるのか？何のために厚生連は存在するのか？そのことをしっかり考え、7病院の方向性を示したいと思います。

一方、JAグループ全体では、准組合員の事業利用規制や信用事業の健全性確保など、事業・組織の根幹にかかる厳しい問題に直面しています。この危機に対して、JAグループの力を結集して乗り切っていかなければなりません。

医療・農業を取り巻く状況は厳しくなっていますが、役職員が一丸となって取り組むことをお誓いし新年のご挨拶といたします。

内視鏡下手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」を導入しました
 ～従来の手術にロボットの技術をプラス。より高度で繊細な手技が可能に～

三重北医療センター いなべ総合病院 事務部長 奥田 聖貴

令和元年9月28日、いなべ総合病院に手術支援ロボット「ダ・ヴィンチXi」を導入いたしました。

二宮和也が主演のTBS系ドラマ「ブラックペアン」で登場する「ダーウィン」という手術ロボットは、このダ・ヴィンチがモデルとなっています。

手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」は当初、米国防軍によって、戦場での兵士の手術を本国から遠隔で行うシステムとして、開発が始められました。その後、民間での治療システムとして転用開発されました。

米国「Intuitive Surgical」社「i c a r」社」が取り扱っており、世界中では、約4000台が導入されています。日本では、保険適応が限られていること、施設基準のハードルの高さ、機器本体が高額でありランニングコストも高むことから、なかなか導入が進まず、現在日本では3500台あまりのごとまっています。

この度、三重県下で5例目、東海四県の厚生連では海南病院に続き2例目の導入となりました。

ロボット支援手術と言っても、ロボットが自ら考え動くシステムではなく、これまで人間が行っていた腹腔鏡手術にロボットの優れた技術を組み合わせる事で、より高度で繊細な手技を可能にするものです。

ダ・ヴィンチは鉗子などが取り付けられた3本の手術アームと3Dカメラアームからなり、術者が離れた場所にあるコンソール「操作席」に座り、3Dモニターを見ながら手術を行います。カメラとアームは、1センチ程度の小さな穴から患者さんの体に侵入し、手術を行います。アームの先に取付けられた鉗子は非常に小さく、人間の関節可動域を超えた動きをします。また、手ぶれ補正機能も有り、ロボットアームの精密な動きから、米粒に文字を書く事も出来ます。その動きは、カニが小さな前足を巧みに使い餌を食べる様子に似ています。

11月には、ダ・ヴィンチの導入に伴い、4日間に分け関係者への内覧会を行いました。

内覧会には、市長、県議会議員、市議会議員、医師会の方々や各病院の先生方に来ていただき、実際にダ・ヴィンチの操作体験をしていただきました。

また、一般市民向けに11月より赴任された泌尿器科の安藤医師による市民医療公開講座を開催し、引き続き内覧会も開催しました。内覧会には、地元の高校生を招待し、実際に腹腔鏡とダ・ヴィンチの違いを操作体験していただき、高校生が操作することに会場からは大きな拍手が上がるなど、大変盛り上がりました。

当日は約200名程度の参加があり、

この様子は新聞やケーブルテレビでも大きく取り上げていただき、いなべ総合病院を幅広く知っていただくいい機会になりました。

ダ・ヴィンチの導入により、地域の方々には遠くの大きな病院に行かなくても、近くの病院で、高度な医療を受けて頂くことが出来ます。また、大学においても医師にとってダ・ヴィンチを操作できるチャンスは限られており、のちにスタンダードな治療になるであろうロボット手術について、当院がいち早く導入し、大学からの優秀な医師の学びの場として発展していく事がいなかへ総合病院にとっても重要です。

実際に、4月の名古屋市立大学といなべ市、いなべ総合病院との三者連携協定、7月の寄附講座の開設、今回のダ・ヴィンチの導入は、当院と大学との連携を深める大きな転機となり、医師も増加しつつあります。

現在、ダ・ヴィンチの稼働に向けて、「Teamダ・ヴィンチ」を結成し大学での手術の見学やトレーニングを開始しております。

また、「ロボット・腹腔鏡 低侵襲手術センター」を開設し、ダ・ヴィンチの稼働は2020年1月から泌尿器科分野において開始します。

一時は、医師不足にて元気のなかった病院ですが、令和元年度は様々なイベン

トもあり、ダ・ヴィンチの導入においてもいなべ総合病院の発展の起爆剤になればと考えています。

今後、ダ・ヴィンチは三重県厚生連での共同利用、共同研修に利用していただければと考えています。是非、たくさんの厚生連の先生方・コメディカルの方々に実際にダ・ヴィンチを見ていただき、技術を学んで頂く場としてご利用頂きたいと思っております。



「障害者の生涯学習支援活動」に係る
文部科学大臣表彰を受けました
(株)三厚連ウイズ 代表取締役 伊藤 雅彦



代表取締役 伊藤雅彦

令和元年度「障害者の生涯学習支援活動」に係る文部科学大臣表彰を(株)三厚連ウイズが受賞しました。令和元年12月3日東京・霞が関の文部科学省で表彰式が開催され、社長と社員代表1名が出席して表彰状を頂きました。

この表彰は、障がい者が生涯を通じて教育やスポーツ、文化などの様々な機会に親しみ、豊かな人生を送ることが出来るよう、障がい者の生涯を通じた多様な学習を支える活動を行う個人や団体の功績をたたえ、文部科学大臣が行うものです。

活動内容は、会社を拠点とした余暇活動支援として認められたもので、当社では、スポーツを通じた社会参加の取組みを推進しており、県ふれあいスポレク祭や地域のスポーツフェスティバルへ積極的に参加しています。県障がい者スポーツ大会

へは、会社でチームを編成して参加しており、社員は全国障害者スポーツ大会への出場を目標に練習に励んでいます。また、社員旅行、成人式、新年会等の行事的な活動を実施し、余暇活動の充実を図っています。様々な体験を積むことで、社員は働く意欲を高め、生涯にわたる学習活動の支援に繋がっています。

障がい者の自立と社会参画を促進するとともに、今後も、社会生活に必要な知識・スキル等を学習できる場を提供することで、会社全体で障がい者の生涯にわたる学習を支えていきたいと考えています。



表彰を受けた 片山社員(左)、伊藤社長(中)と文科省担当者(右)

鈴鹿オフィスワーク
介護福祉士見学実習を受け入れて
三重北医療センター 菰野厚生病院 看護部長 濱村 幸子

令和元年10月2日 鈴鹿オフィスワーク医療福祉専門学校の1年生13名の介護福祉科見学実習を受け入れました。学生は、ネパール・ベトナム・スリランカからの留学生が多く、日本人は3名でした。

日本語の会話ができると事前に聞いていましたが、オリエンテーションで使用するパンフレットでは翻訳し、食事では、宗教上食べられない食品をはずし準備しました。

実習は、入浴・食事介助の見学、中央材料室の見学、嚥下訓練食の試食体験をしてもらいました。実習後の見学実習レポートには、はじめの病院実習で、病院を興味深く感じたことと、有意義な実習ができて良かったとすべての学生が日本語で綴っていました。受け入れ病院として、文化・風土の違いに戸惑いながらも、一生懸命に学ぶ学生の姿に初心を思い出し、貴重な経験ができました。



実習学生の集合写真



病院内の見学実習



嚥下食の試食

光力学診断併用による経尿道的膀胱腫瘍切除術が可能になりました
 最新機器の導入で腫瘍再発率の低減へ
 三重北医療センター 菰野厚生病院 副院長 最上 徹

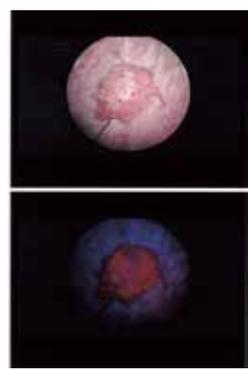
膀胱腫瘍の中でも表在性膀胱腫瘍に
 対する手術療法として、経尿道的膀胱
 腫瘍切除術（以下TURBT）は確立
 された治療法です。

今回、このTURBTの手術精度を
 更に高める光力学診断（以下PDD）
 併用可能となった手術機器（図1）を
 平成31年3月に導入しましたのでその
 概略について説明します。

患者さんは手術開始3時間前にアミ
 ノレブリン酸塩酸塩顆粒剤（アラグリ
 オ®）を内服します。アラグリオ®は
 体内に入ると代謝産物であるプロトポ
 ルフィリン区となり悪性細胞に選択的
 に蓄積されます。光力学診断併用下経
 尿道的膀胱腫瘍切除術（以下、PDD
 ・TURBT）は内視鏡光源のスイッ
 チの切り替えにより白色光と青色光
 （400・410nm付近）で観察可能
 です。青色光観察で腫瘍部は赤色蛍光



【図1】
 泌尿器光力学診断用PDDカメラシステム



【図2】
 内視鏡光源のスイッチの切り替えにより
 明瞭化された病変部

（635nm付近）を発し（図2）、非腫
 瘍部の境界が明瞭化され確実な病変部
 の切除を可能にします。

PDD・TURBTはこれまで見落
 としがちな腫瘍周囲の微小病変や、平
 坦な視認しづらいcarcinoma
 in situ（CIS）病変部の存在
 を明らかにさせる画期的な治療法です。
 PDD・TURBTの導入は腫瘍再発
 率の低減を可能にすると考えます。

病院外壁ピフォアアフター
 洗浄工事で新築当時の輝きを取り戻す
 大台厚生病院 総務課長 西川 義幸

大台厚生病院は平成27年4月に大台
 町、大紀町の支援を受け現在の地に新築
 移転を遂げてから早4年10ヶ月が経過し
 5年目に入っております。当院は清流・
 宮川が傍ら流れ、緑豊かな森林に囲ま
 れた大変素晴らしい自然環境の中に真新
 しい白い壁を輝かせておりました。

と、過去形で表記したのは理由は
 あります。当院がある大台町は台風時
 の大雨情報でもよく町名を目にする通
 り、とても雨の多い地域です。加えて
 宮川の影響と思われる霧や霞も多発し
 ております。その湿気を原因に苔が病
 院の白い壁に付着し、陽が当たらない
 正面玄関のある北側の壁がうっすらと
 黒ずんで見え、とても築5年目の病院
 とは見えない状態となっております。
 （洗浄前の写真参照）

そこで当院では今年の9月14日から
 24日まで外壁洗浄工事を実施しました。
 先ずは高所作業車にて洗浄剤を塗布し、
 その後高圧洗浄機にて一気に汚れを落と
 していきます。苔汚れがみるみる落ちて
 いく様は気持ちがいいほどでした。

洗浄工事が完了し、新築当時の輝きを
 取り戻した外壁と共に、大台厚生病院の
 職員一同、心機一転「全職員で心が通い
 合う医療を提供し、紀勢地域の皆様の健
 康と福祉の充実に貢献します」という病
 院理念のもと、さらに地域ニーズに応じ



た質の高い医療サービスを提供できるよ
 う病院スタッフ一丸となって取り組んで
 まいります。
 今後とも、皆様のご指導、ご支援を宜
 しくお願い申し上げます。

三重大学医学生への教育活動について
 ～実習を通じて地域医療の実態を学ぶ～
 南島メディカルセンター 総務課長兼 医事課長 吉田 英記

南伊勢町では、医学生が早い時期から地域の保健医療への理解を深めることが出来るよう、三重大学の医学生（第1学年）への教育活動支援を行っています。

9月10日は当センターにおいて、医学生4名が訪問看護／訪問リハビリに同行しました。南伊勢町は県下で最も高齢化が進んだ地域で、高齢化率は約50%となっています。高齢者だけの世帯も多く、家族の支援が得られにくいなどの理由から居宅サービスの受給率が低いことも課題となっています。医学生の皆さんには、実際に訪問看護の利用者さまに接することで、地域の課題を肌で感じてもらえたようです。

センター長を交えたカンファレンスでは、医学生各々が地域医療の実際に触れ、感じたことを積極的に発言していました。このような取り組みを通じて地域医療を支える人材が少しずつでも増えてくるよう期待したいと思っております。



第3回 MIELS - Disaster - に参加して
 ～当院が総合得点1位で最優秀チームに～
 鈴鹿中央総合病院 初期研修医 田端 勇作

令和元年10月6日に鈴鹿市でMIELS III - Disaster - が開催されました。

MIELS (Mie Integrated Emergent Life Support) とは、病院前救護活動・病院前診療に必要な知識と技術を習得する事を目標に開発された「統合化された救急救命標準化教育コース」です。第3回である今回は、主に災害救助に焦点を当てたコース構成となりました。



おそろいのTシャツでチーム連携もより高まります

災害救助は普段の日常業務の中ではあまり触れることのない領域であり、自分にとって未知の世界でもありました。その意味でも今回このコースに参加させていただけたことは、非常に有意義な経験になったと思います。

昨今、我が国では地震、台風、豪雨などによる自然災害が相次いでおり、日本が災害大国であることを改めて思い知らされます。南海トラフ地震など、今後もしつ未曽有の大災害が私たちに降りかかるとも知れず、私たちひとりひとりがその事を他人事と思わずに危機感を持って生活することの大切さを今回学ばせてもらいました。

「備えあれば憂いなし」との言葉がありますが、私もこの経験で終わりにせず、来るべき瞬間に一人でも多くの人々を救えるように日々邁進していきたいと思えます。

当院からも医師2名、看護師2名が参加し、鈴鹿中央消防署の救急救命士2名を加えた計6名のチームでこのコースに応募しました。コースはトランシーバーを使っての情報伝達、多数傷病者対応、化学災害など、様々なブースに分かれており、各ブースの合計点数で総合順位を競うコンテスト形式となっていました。チーム内での連携が鍵となったため、何とか都合を合わせて日頃からチームで練習に励んできました。その結果、多くの人々の協力もあって、総合点数で1位となり最優秀チームの評価を頂くことができました。



先輩方のご指導に感謝いたします



プログラム「あるく」の風景



各事業所との交流会

鈴鹿厚生病院デイナイトケアセンターは、精神に疾患を抱えた方を対象とした通所リハビリテーション施設です。認知機能の維持のための『脳トレ』や、ウォーキングをしながら地域のゴミ拾いを行う『あるく』などの様々なプログラムを展開しています。

また、就労を希望される方には、その方に合った就労時間や作業内容など、本人の意思を尊重しながら多職種で支援をしています。就労開始後も継続し

て疾患や生活の安定を図れるよう、デイケアスタッフが職場へ出向く事業所訪問を、平成27年3月から実施しています。事業所訪問を行うことで、不調時に早期の医療的介入が可能となり、これを繰り返すことで医療者と事業所との連携が強くなっていきます。また、平成27年10月から月1回の頻度で、医療者と各事業所との交流を深め、就労時の困りごとの相談や情報交換の場を設けています。

鈴鹿厚生病院デイナイトケアセンター

〜精神に疾患を抱えた方に寄り添う〜

鈴鹿厚生病院 作業療法士主任 岡村 綾
精神保健福祉士 島田 由美子

認定看護師紹介

〜脳卒中発症後早期受診を目指して〜

三重北医療センターいなべ総合病院 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 三谷 祐子

わたしは、脳神経看護について知識を深めたく認定看護師を目指しました。

脳卒中リハビリテーション看護認定看護師教育課程では予防から急性期・回復期・維持期まで一貫した生活構築のプロセス管理をおこなっていく重要性を学びました。

そして認定看護師取得後から約10年経過しました。脳卒中は予防することがとても重要です。また脳卒中を発症してから治療開始までの時間もその後の生活を左右するほど重要です。

市民講座や地域の機関誌を利用して、早期受診に関する情報を発信しています。

脳卒中は脳に突然中る（あたる）という意味があり突然発症します。

脳卒中治療は出来るだけ早く治療をする必要があります。なかでも脳梗塞治療の「Corticoid・PA療法（静脈血栓溶解療法）」がありますが、発症後より4.5時間以内に治療を開始しなければなりません。（脳卒中治療ガイドライン2015版）

脳卒中が疑われる初期症状を確認出来る簡単なテストがACT・FASTです。

ACT（行動）・F（Face 顔）・A（Arm 腕）・S（Speech 言葉）・T（Time 時間）の頭文字をとっています

ですが、早く行動を」と言う意味もあります。

ACT・FASTで症状チェックを行い、1項目でも該当すれば脳卒中の可能性が70%とされています。

脳卒中を疑う症状が認められた場合は、暫く様子を見るのではなく、そして自家用車ではなく、すぐに救急車での受診を勧めます。

 F Face 顔	 A Arm 腕	 S Speech 言葉	 T Time すぐ受診
 うまく笑顔が作れますか？	 腕を上げたままキープできますか？	 短い文がいつも通りしゃべれますか？	 症状に気づいたら、すぐに119番を！

治療食紹介します④ 透析食

松阪中央総合病院 栄養管理科長 石田 友子

透析食は、蛋白質、塩分、カリウム、リン、水分のとりすぎに気を付け、エネルギー源や栄養素をうまく補給する透析療法をされている方の食事となります。制限が多い食事になりますが、出来るだけおいしく召し上がっていただくよう食材選びや調理方法を工夫しています。当院のある日の透析食（夕食）をご紹介します。

◆ごはん…200g

◆鮭フライ

【材料】（1人分）

- 生鮭…60g ● こしょう…0.1g
- 小麦粉…3g ● 卵…3g
- パン粉…5g ● 揚げ油…8g
- 中濃ソース…8g
- アスパラガス…20g

作り方

- ① 生鮭にこしょうをふり、小麦粉、卵、パン粉の順に付ける。
- ② 180度の油でキツネ色になるまで揚げる。
- ③ アスパラガスを茹でる。（塩は使わない。）

④ 鮭フライとアスパラガスを盛りつける。ソースを添える。

★ 鮭が60gと小さめのため、ボリウムを出すためとエネルギーを補つため、フライにしています。

◆大根ポトフ

【材料】（1人分）

- 大根…50g ● ウインナー…10g
- 人参…10g ● インゲン…10g
- コンソメ…1g
- しょうゆ…1g

作り方

- ① 大根と人参を乱切りにする。インゲンを3cmくらいに切る。ウインナーは斜めに切る。
 - ② ①の野菜を下ゆでをする。ゆで汁を捨て、再度水を入れ、ウインナーを加えて煮る。コンソメ、しょうゆで味付けする。
 - ③ 汁を少なめに盛りつける。
- ★ 野菜を下茹でし、カリウムを減少させてから、調理します。水分制限があるため、汁は少なめに盛りつけます。

◆ゴボウサラダ



【材料】（1人分）

- ゴボウ…30g ● ピーマン…15g
- 人参…15g ● マヨネーズ…8g
- しょうゆ…1g ● ごま…2g

作り方

- ① ゴボウ、ピーマン、人参は細切りにし、ゆがき、水気をしっかりと切り、冷ます。
- ② ①をマヨネーズ、しょうゆ、ごまで和え、盛りつける。

★ マヨネーズは塩分が少ない調味料で、エネルギーが補えます。しょうゆとごまを加えることで風味がアップします。

栄養量 1食1人分

- エネルギー 669キロカロリー
- 蛋白質 23.3g
- 脂質 20.5g
- 塩分 1.8g

JA三重厚生連

人に 地域に やさしい看護

薬剤師 看護師 助産師 介護福祉士 看護補助員 募集



厚生連だより Vol.81

発行／三重県津市栄町1丁目960番地 2020.1発行

三重県厚生農業協同組合連合会

TEL 059-229-9191 FAX 059-224-4354
http://www.miekosei.or.jp/ E-mail:info@miekosei.or.jp



自然保護のため、石油系成分の少ない植物油性インキを使用しています。